



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和3年3月31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディスイシンキョウ
団体名 岡山市京山地区ESD推進協議会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域 (小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
① 事業 実施 内容	・年間を通して「やさしく走ろう京山」運動の実施状況の報告と啓発プレート、啓発ステッカー「やさしく走ろう京山」の配布やのぼり旗の設置を行った。 ・啓発プレート、「やさしく走ろう京山」の配布は、京山中学校1年生の自転車通学生、伊島小学校、津島小学校の4年生の希望者に行った。また、伊島認定こども園の希望する保護者に配布した。 ・啓発ステッカー、「やさしく走ろう京山」の配布は伊島、津島小学校4・5・6年生、京山中学校生全員に3種類のうち1種類を選んでもらい配布した。 ・「京山地区地域安全パトロール隊」で、参加団体京山学区にある、こども園、小学校、中学校、高等学校、大学の各教育機関、伊島学区・津島学区にあるさまざまな町内会組織に進行状況の報告、協議、運動への協力依頼を行ってきた。 ・「自転車マナー向上協働行動」を計画したが、コロナの影響で実施できなかった。 ・「自転車交通安全教室」を岡山市地域応援人づくり講座と共催し、公民館の指針に従ってコロナ対策を十分行って開催した。 ・企画委員会の合議で地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の発信を続けた。
② 解決 を 目 指 し た 課 題	・「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の大きな課題の1つである。京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の話し合いの中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く出され、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指した。

③ 目 的 的 目 標 と そ の 達 成 状 況	・京山地区ESD推進協議会はSDGs目標達成に向けて総合的な取り組みを行っている。SDGsの11番目の目標「住み続けられるまちづくり」に向けて活動している。また、京山地区ESD推進協議会が地域課題と将来展望から設定した京山地区がめざす5つの地域像（目標）がある。その【目標4】「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で住みよい地域」を目指して活動をしているのが、「地域の絆プロジェクト」である。 ・京山中学の1年生、自転車通学生、自転車の乗り方教室や自転車運転免許が配布される伊島、津島小学校4年生の希望者に啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布した。また、伊島認定こども園の保護者の希望者にも配布した。この運動を子育て世代へ広げることができた。 ・この自転車マナー問題は周知のように、すぐに大きな成果をあげることができない。しかし、「やさしく走ろう京山」運動を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両とも誰もが安心して通行できる地域になることを、期待し運動を続けていくことが何よりも重要と考えている。「この運動はいい運動なので是非に続けていってもらいたい」との声をたくさん聞いている。この声に励まされて、運動を続けていっている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」と小学校の保護者から提案のあった、プレートより簡易に取り付ける子のできる啓発ステッカーを3種類作成し、小学校、中学校、町内会に配布した。 ・これらのプレート、ステッカーを配布し、地域関係者の自転車に付けられことによって、人びとの意識は大いに向上した。とはいえ、京山中学生に対して行ったアンケートによると啓発プレート、啓発ステッカーを付けている生徒が20%だった。まだまだ運動の広がりの不十分さを認識した。
④ 企 画 等 の 工 夫 と 情 報 公 開	・啓発プレート、啓発ステッカー「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で運動を推進していく地域の住民、生徒に配布する活動を行った。このプレートは周りの人に交通安全を呼びかけるとともに付けている本人の意識が向上することを強調して運動を進めていった。 ・昨年度より伊島、津島小学校の保護者の方との懇談で実施メンバーに加わってもらった。 ・「地域の絆プロジェクトだより」を年間3回、京山学区の全戸に各町内会の協力を得て配布した。このだよりには、「やさしく走ろう京山」運動の目的、意義、願い、さらに、啓発プレート「やさしく走ろう京山」の宣伝を毎号掲載した。地域の絆だよりには、メールなどの方法で原案に対して企画委員に意見を求めた。 ・「自転車安全運転講座」開催した。地域応援人づくり講座と共催。コロナ対策は公民館の規定に従い、定員80名の会場に28名の参加・常時窓を開け換気。体温測定、手指の消毒、マスクの着用、参加者名の確認などを行った。 ・「自転車マナー向上協働行動」はコロナの影響で開催することができなかった。

⑤ 次 年 度 計 画	・歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域を目指して「やさしく走ろう京山」運動をさらに広げていく。 ・「自転車マナー向上協働行動」や小学校の交通安全教室もこのコロナの状況が改善しなければ実施することはできない。その状況で出来る限り実施できるように努力したい。 ・啓発プレート、啓発ステッカー「やさしく走ろう京山」の配布を次年度も行う。また、このプレート、ステッカーが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域の人びとの意識はますます向上し、自転車問題についての関心も高まっていくことが期待される。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも期待される。 ・その達成の状況を確認するために、今年度実施した京山中学校へのアンケートを再度行い、認識度50%を目指したい。 ・「やさしく走ろう京山」運動を広く知ってもらうために、ポスターを作成する。その图案の募集を京山中学生に依頼し、よりこの運動への関心を高める。
⑥ 事 業 実 施 者 と し て の 評 価 ・ 感 想 ・ 審 査 会 で の 助 言 及 び 意 見 を 踏 ま え た 改 善	・交通問題は、地域住民でないとできないこと、行政でないとできないことがある。地域住民でないとできないこの運動を今後とも広げていく必要がある。交対協や安全・安心ネットワークはそれぞれ独自の目標に向かって活動を進められている。その活動と協働しながら、京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクトでは、行政指導の縦割り組織ではできない活動を目指している。具体的には、学校関係や他学区などとの幅広い協働を「自転車マナー向上」に特化した運動で行っている。 ・自転車マナー問題は持続可能な社会をめざすためには、どの地域にとっても共通の、そして永遠の問題である。その中で、どんな方法がよいのか。どうすれば、どのような効果が生まれるのか。すべて、試行錯誤を繰り返す運動だと考えている。 ・「自転車マナー向上協働行動」の参加団体を増やし、参加者も年間200名を目指したい。 ●事業決定時での審査会意見・コメントについて ①学生、大学生は入れ替わっていくので、継続した取り組みが必要です。大変ですが、がんばってください。 ②効果も出てきているようで素晴らしいです。効果の検証方法も検討しながら、継続した取り組みを期待しています。 ③自転車利用者や住民からどのような活動を期待されているかを調べながら実施すると、より良い事業になると思います。 ④「自転車先進都市おかやま」のモデル事業として実践できたらいいですね。 ⑤公民館を拠点とした地域全体のESD事業の素晴らしさが感じられます。 ⑥達成状況を量る具体的な物差しが必要ではないでしょうか。 ⑦自転車マナー向上に取り組まれています。自転車の行動のどのような点が問題なのか。その問題の対策の効果（マナー問題の改善度合い）について、ご説明をお願いしたいと思います。

①ありがとうございます。今後も継続活動していきます。 ②③今後、アンケート等にて活動に対する住民調査を考えながら、効果の検証や地域住民の要望を考え、活動していきたいと思います。 ④自転車先進都市おかやまのモデル事業化については、コロナの影響で「自転車マナー向上協働行動」が実施できず、御野学区などに広げることが出来ませんでした、今後モデル地区となるよう交通政策課へも要望しながら、活動していきたいと思います。 ⑤ありがとうございます。 ⑥達成状況を量る物差しがなかなか難しいが、京山中学校の協力を得てのアンケート調査を行いたいと考えています。 ⑦地域住民の目に留まり、交通ルールの再認識をしているかの検討を今後行いたい。	Ⅲ 一部できなかった
--	-------------------

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
令和2年 5月12日	伊島、津島小学校 交通安全教室 中止 地域の絆プロジェクト「だより」発行 中止 4月、5月 山地区地域安全パトロール隊 中止 「自転車マナー向上協働行動」 中止
6月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
6月15日	京山地区地域安全パトロール隊
6月30日	京山中学 プレートステッカー配布 依頼訪問
7月 2日	伊島小学校 プレートステッカー配布 依頼訪問
7月 6日	津島小学校 プレートステッカー配布 依頼訪問
7月13日	伊島認定こども園 いづみ町交番 プレートステッカー配布
7月18日	伊島町内会、津島町内会 チラシ、プレートステッカー配布
7月20日	京山地区地域安全パトロール隊
8月11日	地域の絆プロジェクト企画委員会
8月13日	京山地区地域安全パトロール隊
9月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
9月15日	の絆プロジェクト企画委員会
9月15日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会 文書で連絡
9月23日	京山地区地域安全パトロール隊
9月29日	自転車安全運転講座「守ろう あなたを」
10月12日	「自転車マナー向上協働行動」 中止
10月15日	地域の絆プロジェクト企画委員会
10月16日	京山中学SKF 「やさしく走ろう京山」運動の講演
10月19日	京山地区地域安全パトロール隊
11月10日	地域の絆プロジェクト企画委員会
11月16日	京山地区地域安全パトロール隊
12月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
12月11日	地域の絆プロジェクト企画委員会
12月21日	京山地区地域安全パトロール隊
12月22日	京山中学 「やさしく走ろう京山」運動へのアンケート回収
令和3年1月12日	「自転車マナー向上協働行動」 中止
1月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
1月18日	京山地区地域安全パトロール隊
2月 9日	地域の絆プロジェクト企画委員会
2月10日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会 文書で連絡
2月15日	京山地区地域安全パトロール隊
3月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
3月 9日	地域の絆プロジェクト企画委員会
3月15日	京山地区地域安全パトロール隊

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	200, 000	200, 000	
負担金	30, 000	31, 216	
協賛金			
寄付、他収入	170, 000	175, 000	交通安全対策協議会、 その他
計	400, 000	406, 216	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	374, 000	343, 810	啓発プレート・ 啓発ステッカー、のぼり ファイルケース
②食糧費	24, 000	0	
② 印刷製本費	0	62, 406	チラシ、コピー用紙
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	2, 000	0	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
計	400, 000	406, 216	